

# みまこと

議会だより



美郷町議会だより

第34号

平成25年 4月

美郷町議会 第1回定例会報告…	2
一般質問 8人が登壇……………	5
三江線を守る議員連盟活動報告……	13
追跡 どうなったの?あの質問… ……	13
住民の声 ……………	14

花の谷のエドヒガンザクラ

# 平成25年 美郷町議会 第1回 定例会 報告



議長  
品川 光博

平成25年第1回定例会が3月5日に招集され、会期を3月15日までの11日間と決め開会されました。初日の5日は、町長の平成25年度施政方針説明（広報みさと第103号掲載）で始まり、条例案11件、予算案16件、一般事件案3件の計30件が提案され慎重審議しました。本定例会の会期中には、町内中学校の卒業式もあり、忙しい日程でありましたが、12日の一般質問には8名の議員が町の諸施策について質しました。

## 提案された議案

### 条例案

●美郷町課設置条例の一部を改正する条例の制定について

●健康推進課と住民福祉課にまたがる業務を福祉事務所へ集約し、業務の効率化・指示系統の明確化を図るため、健康推進課を保健衛生課に改めるもの。

●美郷町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

●病原性が高い新型インフルエンザ等が発生したときは、その対策を的確かつ迅速に実施するための条例の設置。

●美郷町防災行政無線局の設置及び管理等に関する条例の制定について

●4月1日から運用を開始する防災行政無線局の設置業務の内容、範囲及び運用方法等の管理について必要な事項を定めるもの。

●美郷町分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

●土地改良施設維持管理適正事業が新たに追加され、地元分担金の徴収条例の一部を改正するもの。

●美郷町福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について

●福祉事務所に介護保険事務が移管されることに伴い、社会保障に関する事務を追加するもの。

●地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

●障害者自立支援法等の一部改正に伴い、同法を引用している関係条例中の法律名、政令名、引用条項を改めるもの。

●美郷町隣保館条例の一部を改正する条例の制定について

●浜原隣保館建設に伴い所在地番の変更及び設置目的を改正するもの。

●美郷町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

●公営住宅法及び公営住宅法施行令の一部改正により、町営住宅入居者の収入基準、建築等における整備基準について定めるもの。

●美郷町若者定住住宅条例の一部を改正する条例の制定について

●浜原ニュータウン3棟が

追加された。

●美郷町水道布設工事等に関する基準を定める条例の制定について

●水道法の一部改正に伴い、簡易水道事業に係る工事監督者及び水道施設の管理業務を行う水道技術者の資格基準を定めるもの。

●美郷町下水道条例の一部を改正する条例の制定について

●下水道法の一部改正に伴い、下水道施設の構造及び維持管理基準を定めるもの。

### 島根県指定天然記念物に指定

平成25年4月9日、島根県教育委員会にて、①花の谷のサクラ（九日市）、②酒谷のオロチカツラ（酒谷）、③学舎のイロハモミジ（九日市）が、島根県の天然記念物に指定されました。

# 予算案

## 平成25年度予算総額 79億6945万1千円

予算は平成25年度予算及び平成24年度補正予算が提出された。各会計別の予算総額は次のとおり。

会計名	本年度	前年度	前年対比
一般会計	6,525,000千円	6,815,000千円	▲ 4.3%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4,412千円	6,173千円	▲ 28.5%
簡易水道事業特別会計	182,455千円	265,935千円	▲ 31.4%
下水道事業特別会計	291,701千円	305,270千円	▲ 4.4%
君谷診療所特別会計	4,910千円	4,552千円	7.9%
国民健康保険特別会計	690,781千円	704,665千円	▲ 2.0%
国民健康保険診療所特別会計	81,560千円	93,530千円	▲ 12.8%
後期高齢者医療特別会計	188,632千円	185,443千円	1.7%
合計	7,969,451千円	8,380,568千円	▲ 4.9%

## 平成24年度補正予算

	補正額	補正後総額
一般会計	▲ 92,633千円	7,120,911千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	0千円	6,173千円
簡易水道事業特別会計	115,976千円	397,003千円
下水道事業特別会計	18,386千円	324,190千円
君谷診療所特別会計	▲ 22千円	4,732千円
国民健康保険特別会計	31,517千円	733,558千円
国民健康保険診療所特別会計	▲ 14,518千円	80,326千円
後期高齢者医療特別会計	▲ 4,139千円	183,863千円
合計	54,567千円	8,850,756千円

### 一般事件案

- ◎美郷町過疎地域自立促進計画の一部変更について  
●無店舗地域対策支援事業、県道川本波多線竹地区集落移転造成事業、町内小中学校エアコン整備事業等実施に伴う一部変更。
- ◎美郷町道路線の認定について  
●比敷上線の町道認定。
- ◎邑智郡総合事務組合規約の変更について  
●保育料、児童手当、児童扶養手当の共同電算処理の事務が新たに加わることに伴い、邑智郡総合事務組合規約の一部変更するため、議会の議決を求めるもの。

# 請願

請願の要旨	審査結果	付託常任委員会
美郷町消防団自動車分団ポンプ庫改築についての請願 (美議請第1号)	採択	総務常任委員会
オスプレイ及び米軍機の低空飛行訓練中止を求める請願 (美議請第2号)	採択	総務常任委員会

# 陳情

陳情の要旨	審査結果	付託常任委員会
町道二夕合線改良工事に関する陳情 (美議陳第1号)	採 択	経済常任委員会
美郷町議会の議員定数見直しに関する陳情 (美議陳第3号)	採 択	議会運営委員会

## 発議・発委

3月15日の最終日に議員発議による意見書が2件提案され、全会一致で可決されました。意見書は内閣総理大臣をはじめ各関係機関へ送付しました。  
また、議会運営委員会から2件の委員会発議が提出され、全会一致で可決されました。

### 【議員発議による意見書】

◎オスプレイ及び米軍機の低空飛行訓練の中止を求める意見書

◎TPP交渉参加に反対する意見書

### 【委員会発議】

◎美郷町議会委員会条例の一部を改正する条例案の提出  
(要旨)

総務常任委員会の所管である「健康推進課」を「保健衛生課」に名称を改めるもの。

◎議会改革特別委員会の設置に関する決議案の提出  
(要旨)

議会改革に関連する諸々の課題の調査・検討を行い、議会の活性化を図るために設置しました。主な調査・検討内容は次のとおり

- ① 議会基本条例に関すること。
- ② 議会のインターネット中継に関すること。
- ③ 議員定数に関すること。

### 議会改革特別委員会

委員長	岡先利和
副委員長	山本幹雄
委員	波多野祐康
	西嶋二郎
	佐竹一夫
	篠根正一
	黒川民次郎
	安田勝司
	井下慈海
	岩根和博
	藤原修治

## 自治功労表彰受賞

前美郷町議会議長景山良材氏は、町村議会議員として議会の運営及び地域の振興発展に貢献された功績が認められ、この度、全国町村議会議長会会長より自治功労表彰を受けられました。誠におめでとうございます。これからも健康に留意され、益々活躍されますよう期待します。



平成25年2月21日開催の島根県町村議会議長会定期総会にて表彰伝達された。

前町長の施策と  
景山町長の施政の違いは

基本的には前町長の町政を継承する



旗根正一 議員

**問** 前町長の施策と景山町長の施政の違いは、相違している施策、重点項目、目標などについて伺う。

**答** 前町長は、美郷町第1次長期総合計画で、利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち、人と地域の個性を活かした産業を創出するまち、人が輝き交流が生まれる学びのまち、生涯を通じて健康で安心できるまち、及び連帯の絆で支え合うコミュニティのまちを5つの将来像として進めてきた。私の施政方針も、基本的には前町政を継承するもので

ある。

選挙公約の実現に向け、道路網の整備と公共交通対策、定住・産業雇用対策、子育て支援と住宅福祉の充実及び集落の活性化対策を政策の重点項目として町政運営にあたる。

再質問

**問** 結婚対策の24年度の活動状況と将来像は。

**答** ハッピーコーディネーターに委託しているが実績はない。ホテルでの見合いの場づくりなどを検討している。

**問** 第2次美郷町食育推進

計画は。

景山町長

**答** 策定委員会で計画を作り1つの柱として取り組む。

**問** 生活支援対策としての配食事業の提供可能な地域と回数は。

窪田健康推進課長

**答** 町内全地域が配食サービス範囲だ。配食数・回数は制限を設けないと、補助金の偏りが生じる恐れもあり協議して進める。

**問** 土曜日の終日保育の1時間延長と一時保育の対象

を、生後1歳以上から生後6カ月以上に拡大するとしているが、対象の園児数は。

渡邊住民福祉課長

**答** 土曜保育の24年度利用者数は、邑智保育園で平均月20名、都賀保育園では、3名程度である。一時保育は登録制になっており、邑智保育園で7名、都賀保育園で3名だ。6カ月以上の児童の拡大については、希望者を募ってみないとわからない。

美郷町図書館建設は

検討委員会を立ち上げ意見を聞きながら進める

問

山村開発センター建て替え案に図書館の併設が計画され、図書館の充実を図るとしているが、図書館の規模等はどういうものになるか。

景山町長

**答** 図書館の詳細は、検討委員会を立ち上げ、議会と町民の意見を聞きながら、生涯学習をはじ

再質問

**問** 司書の配置は。

田邊教育長

**答** 郡内の図書館には司書が配置されている。検討委員会でも検討する。

**問** 図書館に愛称をつける

考えは。

田邊教育長

**答** そのようにしたい。



山村開発センター図書室

## 銀山街道の国史跡指定は

準備委員会を立ち上げ、積極的に進める



藤原修治 議員

### 問

国史跡指定を目指すというところで、町民としても大きな期待と関心を持っている。

- ① 銀山街道の文化的、観光的価値は。
- ② 史跡指定への状況は。
- ③ 町の取り組み姿勢は。

### 景山町長

① 歴史的価値は、文化庁の現地視察指導において、高い評価を受けている。このことについて、町内の古文書を解説した美郷町の銀山街道を発刊し、全戸配布を行い、歴史的価値の認識と保全の高揚を図っている。

観光的価値については、

美郷町の貴重な観光資源となる重要度の高い資源と認識する。継続的な取り組みや受け入れ体制の強化も含め、広域での関係機関と連携を図り、町の観光振興につなげる。

② 史跡申請には、指定範囲の道や付帯施設の、座標の入った測量図・地番・面積等が必要となる。平成26年度には「やなしお道」の調査が完了予定である。平成25年度に国史跡登録に向けた準備委員会を立ち上げ、登録に必要な書類や資料の整備、銀山街道の歴史的価値の啓発等を行いたい。

- ③ 史跡登録については、

ボランティア団体や他町村との連携を図り、国・県な

どの指導を受けながら積極的に進めたい。

## 森原古道史跡公園の適切な運用を

歴史的価値の認識と保全意識を高めたい

### 問

史跡公園として整備活用を図るとの情報発信した以上、適切な運営が必要と考える。

よる町立図書館、また伝承館等において、町内の銀山街道の歴史的資料の整備を図るとともに、情報発信をおこない、歴史的価値の認識と保全意識を高めたい。

- ① 公園整備の積極的な活用を。
- ② 古道の情報発信は。

### 景山町長

① 森原古道史跡公園をはじめとした町内の銀山街道については、ふるさと教育という学校教育の大きな枠の中で、他の校外学習と調整しながら積極的に活用する。

- ② 町内の図書室、開発センター立て直しに



森原古道史跡公園立て看板 酒谷地内

## 新たなホームページを

分かりやすいホームページを目指す

### 問

ホームページのリニューアルに向けて準備を進めているが、未だに新しいホームページの公開には至っておらず、早期の交換が望まれる。

- ① 親しみやすいコーナーづくりを。
- ② 適切でタイムリーな運営を。
- ③ アクセス解析でブラッシュアップを。

### 景山町長

① フェイスブックやラインの通信サービスにより、以前の「みさと見てある記」に代わるものとして情報発信をしたい。

- ② これまでより簡単に記事の入力や修正が可能なシステムを取り入れたことに

より、各課で適切な情報の更新を行う。

③ よりよいホームページを目指して、定期的なアクセス解析や、一般の方を交えた検討会議については、現在役場内で組織した各課より選出の情報化委員が、しばらくの間は対応する。

また、この度のリニューアルは、総務省が示している方針に基づいた高齢者の方や、障害者の方にもわかりやすいホームページを目指しており、定期的な点検等も行っていく。

平成25年4月1日、美郷町公式ホームページがリニューアルされました。

※フェイスブックとは…

世界最大のSNS（ソーシャルネットワークサービス）です。SNSとは、人と人とのつながりの上で、交流するといった意味です。フェイスブックは、SNSの中でも、実名で、現実の知り合いとインターネット上でつながり、交流をするサービスです。世界最大のユーザー

※ラインとは…

24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめる新しいコミュニケーションアプリケーションです。

※ブラッシュアップとは…

さらによくすること。

## 県道別府川本線の 早期改良を

極小幅員箇所  
の解消など、  
全線の安全走行を  
早期に図る



岩根和博 議員

**問** ① 改良の進捗状況は。

- ② 現在の状況把握は。
- ③ 緊急発生時における各地域への所要時間は。
- ④ 平成24年度補正予算における道路改良並みの詳細設計の内容は。

景山町長

**答** ① 別府及び君谷の連合自治会長の要望書に基づき、部分改良や法面改良が施行された。平成24年度も、小松地、京覧原、港地内で部分拡幅工事を、地頭所内においては、法面改良工事が施工された。

② 今後も、最小幅員箇所の解消など、車両が安全に

通行できるように路線改良を要望する。

- ③ 大田市中心地へは15分、川本町へは30分、別府へは7分、粕瀬へは13分程度と把握している。川本町への所要時間でもわかるように、京覧原から港までの改良が急務である。
- ④ 連続性のある計画も必要だが、極小幅員箇所の解消など、全線の安全走行を早期に図るために、部分改良等地元自治会と協議しながら進めたい。

## 小規模校の部活動は

教育目的を達成するための教育活動の一環

**問**

① 邑智・大和両中学校の部活現状は。

- ② 創部・廃部予定は。
- ③ 創部・廃部の権限は誰。
- ④ 創部の条件は。

景山町長

**答**

① 邑智中学校は、6部活で、内訳はカヌー部・剣道部・吹奏楽部・バレー部・野球部・陸上部。

大和中学校は3部活で、内訳は、剣道部・卓球部・バレー部。

② 創部については、生徒数の割に部活動が多く困難な状況である。

③ 廃部については、邑智中学校は部活動再編により、24年度から陸上部の募集を停止し、26年度から廃部となる。

大和中学校は、25年度の生徒数が34名となり、秋の新人戦

ではバレー部の運営が難しくなる恐れがある。

③ 学校経営の権限は校長にあり、PTAや部活動後援会の同意のもと慎重に決定をしていく。また、部活動は一定の教育目的を達成するための教育活動の一環として行われる。

④ 創部の条件は、生徒の思い、全校生徒数、教員の数、指導者、地域性等が挙げられる。



邑智中学校

## 鳥獣被害対策は

町ぐるみの取り組み運動に発展するよう努めている

**問**

① 鳥獣害に強い畑作りの実践的な研修会を毎年開催しているがその効果は。

② 猿被害に非常に苦しんでいる。猟銃による駆除以外に効果的な方法があるのか。

③ 最近では、猪・猿・鹿までが出没している。このままでは農地が荒廃して行く、喫緊の課題である。

④ 鳥獣被害対策室等を設置して対応する計画はないか。

景山町長

**答**

① 現在乙原、滝原地域において、住民が自主的に実証圃を設け取り組んでいる。集落、地域ぐるみの対策ができ、被害が減少したことや、休耕地の解消、農作物の生産意欲の向上などの効果が報告されている。

② 群れの拡大に伴う被害を回避するためには、多く

の集落が一体となって、サル対策に取り組んでいくことが効果的な方法で、町ぐるみの取り組み運動に発展するよう努めている。

③ 研修会による啓発活動に併せ、低コストで労力のかからない鳥獣被害を防げる営農についても対応が必要、獣害に強い作物の栽培や、ハウス栽培などにより、営農意欲を衰退させない対策が効果的であると考えている。

④ 産業振興課の一業務として対応している。また捕獲の確認などは全職員により休日対応をしている。今後もこの体制でいきたい。

TPP対策の方向性は

米作から施設園芸への転換を図ることも一つの方策



山本幹雄 議員

**問** 安倍政権になって TPP参加が加速された感がある。絶対反対断固阻止で参加を取りやめることはない。国に先んじて対策なり方向性を示す考えはないか。

**答** TPP参加するしないに関わらず農業経営の方向性について検討を深めなければならない。そのため、葉草葉樹の郷構想として、25年度から栽培の推進や栽培指針について、関係機関の協力を得ながら策定し、販路の確立にも道筋を立て、米作から施設園芸への転換を図ることも1

るため、ハウス資材の助成は24年度まで60万の予算であったが25年度は200万の予算を計上した。ハウスの栽培等への取り掛かりをスムーズにして米作からの転換を支援する。また、葉草葉樹の郷構想を地域に普及していく。有機農業推進の方針を立て、環境を守る農業の推進と有機農産物の販路の整備、技術研修を予算

水道の未整備対策は 水道の負担金は不公平

**問** 町水道や地元管理の深井戸が設置されていない5戸以上の集落はあるのか。その対策は。

**答** 野間、大野猿丸、志君、奥山、笹目地域が該当する。美郷町飲料水供給施設事業補助金交付要綱で事業費の10分の6、上限50万円の補助金制度を設けている。

再質問

**問** 農家の高齢化の問題は非常に重大だ。水路や耕作道の補修が出来ないという実態がある。対策は。

**答** 産業振興課長 水稲から手間の掛らない葉草栽培等への転換を図り、農業施設の維持管理の軽減を図っていく。

再質問

**問** 町で設置する水道は負担金が30万円程度であるが、住む地域によって不公平になっている。

**答** 景山町長 調査し負担を軽くする方法を考える。



地元管理の簡易給水施設



**美郷町の一人当たり  
町民所得は最下位、対策は  
個人所得を表すものではない、  
産業創出に支援する**



岡先利和 議員

**問**

鳥根統計情報データベースでは、美郷町の一人当たり町民所得は、平成18年度から21年度まで19市町村の中で連続最下位である。最下位脱出と町内の経済活動を活発にするために、データを分析し原因を調査して、所得向上の策を講じるべきと思う。町長の考えを伺う。

**答**

残念な数値としか言いようがない。この数値は、14の経済活動の総生産を、総計で企業の利益なども含めた地域経済全体の所得水準を表しており、個人の所得水準をあ

**再質問**

**問** 美郷町には町民経済計算もしくは、行財政政策や経済見通しなどの基礎資料となるものをつくっているか。

鳥田産業振興課長

**答** 経済的な指標はない。基本的に商工業の経済活動が活性化していないので、24年度まで3年間、中小企業経営基盤強化ということで、100万円事業を実施してきた。

**問** 美郷町の財政は、23年度には実績公債費比率が14%という、県下でも2位でありながら、町民一人当たりの所得は最下位である。納得のいかなる行政に思えるか。

樋ヶ副町長

**答** 付加価値生産と実質公債費比率の相関関係はない。実質公債費比率は、合併当初、1、2年で基金を使い果たし、財政再建団体の仲間入りの懸念があった。集中的な財政健全化政策を3年間やった。中でも、早期退職という特殊な事情効果で、健全化ができた。この基金を有効活用し

て、経済政策を強力に推進し、美郷町の生産力を高める。めていく必要があると考え

一人当たり市町村民所得表 (年度別)

単位：千円

	18年度		19年度		20年度		21年度	
	市町村	金額	市町村	金額	市町村	金額	市町村	金額
1	松江市	2,547	松江市	2,668	松江市	2,396	松江市	2,430
2	出雲市	2,429	出雲市	2,504	雲南市	2,264	雲南市	2,324
3	雲南市	2,407	安来市	2,494	隠岐の島町	2,253	隠岐の島町	2,276
4	浜田市	2,358	浜田市	2,415	出雲市	2,253	浜田市	2,263
5	隠岐の島町	2,336	雲南市	2,402	安来市	2,243	出雲市	2,229
6	安来市	2,262	隠岐の島町	2,353	浜田市	2,234	江津市	2,195
7	益田市	2,258	益田市	2,289	知夫村	2,190	知夫村	2,192
8	川本町	2,167	江津市	2,229	益田市	2,132	益田市	2,157
9	海士町	2,156	川本町	2,219	江津市	2,125	安来市	2,138
10	江津市	2,150	大田市	2,180	川本町	2,119	海士町	2,131
11	大田市	2,145	海士町	2,160	海士町	2,110	川本町	2,107
12	西ノ島町	2,118	西ノ島町	2,156	大田市	2,073	大田市	2,093
13	奥出雲町	2,100	奥出雲町	2,154	飯南町	2,062	津和野町	2,056
14	飯南町	2,094	知夫村	2,142	西ノ島町	2,031	飯南町	2,043
15	吉賀町	2,085	飯南町	2,128	奥出雲町	2,030	奥出雲町	2,034
16	津和野町	2,030	邑南町	2,078	津和野町	2,028	西ノ島町	2,024
17	邑南町	2,022	吉賀町	2,067	吉賀町	1,963	邑南町	1,967
18	知夫村	1,991	津和野町	2,012	邑南町	1,963	吉賀町	1,950
19	美郷町	1,961	美郷町	1,935	美郷町	1,852	美郷町	1,849

防災に対する考えは

キーワードは減災



波多野祐康 議員

問

町民の安全安心を支える拠点施設となる防災公園が完成の運びとなっている。防災行政無線の全面改修で個別受信機も更新される。町長の防災に対する強い思いと決意を伺う。

景山町長

答

防災対策については、減災をキーワードに、「自からの安心は自からを守る」の自助、「わが町はわが手で守る」の共助、「美郷町を含めた広域連携」の公助で災害対応力を高め、連携した安全・安心な街づくりをすすめる。

問

平成25年度の防災対策事業名と事業費について尋ねる。

景山町長

答

毎年計画的に配備している非常用の備蓄食料や資機材の保有に130万円、防災士育成事業に50万円、災害時に孤立する地域との通信連絡手段として地域防災力向上支援事業により整備する4地域分の衛星電話と発動発電機のセットに80万円、各避難所の表示看板設置に100万円の表示看板設置に100万円。県事業の災害防除、舗装、橋梁修繕事業などに1億2600万円、地すべり防止事業に4カ所6000

問

水害土砂災害発生時の、避難勧告、避難指示の基準について尋ねる。

景山町長

答

水害、土砂災害発生時の避難勧告の基準は、水害については江の川を対象河川として国道交通省の示す避難勧告基準を準拠、運用している。土砂災害については、現在再編している地域防災計画で、国が示す避難勧告などの判断、伝達マニュアル作成ガイドラインに照らし、本町に合った内容に見直している。迅速かつ的確な避難誘導、勧告の情報伝達に努めたい。

再質問

砂防事業や、治山治水地すべり対策事業の採択の基準はあるのか

赤穴建設課長

答

県事業の採択基準は、指定地域内において、豪雨災害による雨の実績、地元からの要望を受け、年間の

島根県に施工できる予算内において決定される。

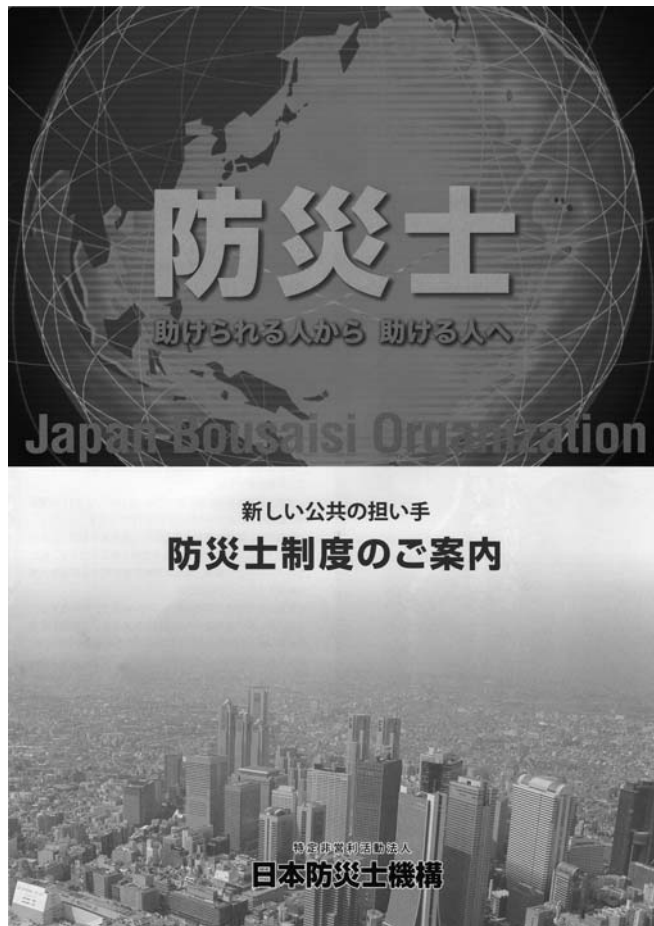
自主防災組織は何地区か。

牧田総務課長

答

防災士は、今年度1名応募があり資格を取った。13連合自治会に自主防災組

織は一応ある。各連合自治会1人ずつ防災士を育成してほしい。



里山の整備で  
地域の活性化を

「新たな森林経営計画」制度を促進する



西嶋二郎 議員

問

近年里山がずいぶん荒れて来ている。荒廃により獣害を誘発している、又、地域の景観も著しく損なわれている。今こそ、里山整備に本気で取り組むべきだと思う。副産物の木材は薪として、又ペレットとして活用できないか。里山整備の妙案はないか。例えば、里山美化コンクール等により意識を高めることができないか。

答

① 里山の環境を保全していくことは地域資源の活用や、良好な自然環境を保つものとして、有効な手段と考える。

の策定のための活動を推進している。

これにより里山荒廃の要因である不在地主化も含めた森林整備の推進が期待でき、町としても計画作りに参画するなどして協力し、国の助成制度が受けられるよう対応する。

薪やペレットへの活用に変換していくことは、非常に有効な手段と思う。産業として成り立たせたい事業であるので、今後も産業化に結びつける研究が必要と思う。

里山整備については、現在進行している「新たな森林経営計画」制度を促進することが里山荒廃解消のポイントになると認識している。

当町においては、本年度から森林組合が不在森林所有者も含めた森林所有者から、長期的な林業経営のための委託契約を締結し、林業だけでなく里山保全などを目的とした森林経営計画

② 里山美化コンクールについては、平成25年度から平成29年度の5ヶ年間の事業である「いづも財団」の資金による「ふるさとの森」再生事業を導入し、管理されなくなった人工林や放置された森林を、その地域本来の生育条件に適した森林へ誘導する、豊かな森づくりに事業に取り組む。すでに財団の事前調査を受け審査会の結果を受けて「山くじらふるさとの森づくり」と銘打って施策を推進する。

また、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に親しまれ、次世代に受け継いでいくため、この事業を活用し、森づくり活動として町民の方を対象に自然観察会や講演会、森林体験学習ワークショップ等を用意し、森林経営計画制度と同様に里山整備の機運醸成に努める。

コミュニティセンター  
建設計画の必要性と経緯は

施設の建設については、強い決意を持って進める

問

コミュニティセンター建設計画の必要性と経緯は。

答

昭和53年に竣工した山村開発センターは、昭和56年に定められた耐震基準に適合していない。そのため、町としては、以前から耐震改修または建て替えか、ということが大きな課題であった。

何時起こるか分からない災害を想定した時、現状の開発センターでは、避難住民の生命すら守ることができないとの思いを強く抱き、早急な対処が必要と考えた。

また、町の拠点施設である開発センターの現状を考えると、高齢者・障がい者が利用しにくい構造であり、要望が多い図書室の充実等の課題解消も是非必要であると考え、安全性と利便性等を第一に考慮すれば、経費はかさむが建て替え以外



建て替わる山村開発センター

にはないとの結論に達した。この施設の建設について

は、強い決意を持って進める。

## 町民所得の向上を

最下位脱出に向けて努力



佐竹一夫 議員

**問**

が、美郷町は県内で最低であった。このことについてどのように考えているか伺う。

景山町長

**答**

町民所得については、非常に残念な数字と受け止めている。分析から商業・製造業部門の生産額が低く、この業種への対策を今後進めていく必要がある。関係機関と一体となって最下位脱出に向けて努力する。

**再質問**

町民所得向上の為に、やはり働き場が必要だと思う。私が議員になってから、企業誘致ということに、取り組んでない。大きな企業でなくてもいい、何か来てくれるところがないか、努力も必要だと思う。

答 省略

## 限界集落の限界とは

言い方に配慮する

**問**

限界集落という言葉の方はやめてほしいと、以前この場でただしたが、依然としてこの言い方をしている。既に国においては、この言い方はしていない、また、全国的にも使わない県が増えている。そういう中で、町長も時々挨拶等で使っている。

景山町長

**答**

平成21年の議員の質問に、前町長が、使う時を限定し、集落、住民に配慮し、控えるようにしたいとしている、私も同感である。

町長となり、限定的に使ってきたつもりだがご指摘をうけ、より配慮し、意識していく。

**再質問**

限界という言葉に抵抗を感じる。なにが限界と思われるか伺う。

景山町長

一般的に限界集落とは、65歳以上が50%以上を占め、集落の行事、活動、役割といった機能、集落自体の維持が難しくなっている深刻な実態を表すと、理解をしている。

景山町長

65歳位は本当に高齢者だと思つか。

景山町長

今の時代、まだ65歳といえ、若い感じがする、団塊の世代の少し過ぎた方の年代であり、この方達を見ても、まだまだ元気であると認識している。

景山町長

新聞によると、「65歳から高齢者」の線引きを見直す「新しい高齢社会対策大綱」に盛り込まれる見通しである。65歳から高齢者と

いう定義は、法的には何にもない訳で、今はもう、65歳どころか男性で80歳近く、女性が85歳。こういう中で、いつまでもこの古い65歳が高齢者というようなことでは、社会が成り立たない。今後、そういう国の考えも

ある様で、是非考え方を变えてほしい。

景山町長

答 65歳という考え方に、国の方でそういう話があるとすれば、その通達を待つて変えたい。



元気な高齢者

# 三江線を守る議員連盟活動報告

事務局次長 山本 幹雄

昨年10月～12月にかけて実施された代替バスによる増便社会実験は、1便当たりの利用者が4名弱と残念な結果となり、三江線を取り巻く情勢は厳しさを増しています。

三江線を守る議員連盟は、昨年11月に結成して以来、島根県知事、JR米子支社への存続要請行動を行いました。さらに三江線全体の取り組みに活動を広げようと、2月と3月に三

次市議会、安芸高田市議会



三次市議会

に議員連盟参加の要請行動を行いました。

2月13日の三次市議会では竹原副議長他3名の議員にお会いし、ともに行動することの要請をしました。

三次市は3路線があり、三江線だけの活動は難しいとの意見もありましたが、一緒に活動することに反対はなく、当面、沿線選出議員が参加することのお話がありました。

また、3月26日には安芸高田市の塚本議長にお会いし、参加要請をいたしました。塚本議長は安芸高田市も2路線があり両方大事だ、自分も高宮であり異存はないので沿線の3名と加わるとの表明をいただきました。

JR米子支社長も社会実験の結果を受けて利用が少ないからすぐに廃止するものではないとしながらも、単に鉄道を残してほしいというだけではなく、公共交通としてどのような形がい



安芸高田市議会

いのか一緒に考えてほしいと言っています。

島根県議会議員による三江線活性化推進議員連盟も結成されたことから、沿線住民の皆さんと一緒に三江線存続の大きなうねりを作っていきたいと思いません。

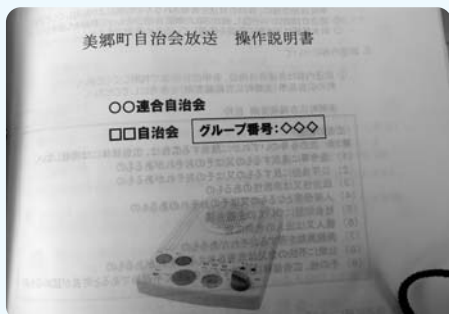
当面は、5月に予定されています三江線利用促進・活性化フォーラムin川本の成功に向け活動してまいります。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

## 追跡

## どうなったの？あの質問…

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。

### 問… 美郷光ネットの有効活用は



- 答…
- 1、光回線を利用して、携帯電話エリアが拡大された。(本久保、法田、猪谷、魚切谷、郷上、神田)
  - 2、個別自治会ごとにお知らせする放送が、できるようになった。(25年4月～)

## ホタル舞う別府に住んで

別府地域 地域おこし協力隊員 深見 和年



美郷町別府の地域おこし協力隊になり約1年になります。別府の協力隊は、地域から立ち上がったNPO法人別府安心ネットのコーディネーターで業務を行っています。ほとんどが依頼作業をこなす

日々になっていますが、地域をどうしたらいいかを遠方から来た身としての視点で考え、提案し、企画していくことにも取り組んでいきたいと思ひます。

さて、この協力隊の任務を通じて、地域のさまざまな方に接する機会があり、そのおかげで日々の生活でも助けられることが多く感謝しています。そしてその中でいろんな発見がありました。それは、近代化で世の中が変わっている今でもなお昔ながらのよいものがたくさん残っているという点。文化やくらしの伝統技術、農的生活とともに受け継がれた生態系、そして一人ひとりの人柄も。また、集落単位の組織として動けるといふ点がすばらしいと思ひます。

会社組織や同じ考えや趣味をもつグループでもなく、上下関係や金銭関係でなくてまとまって動けるコミュニオン（共同体）っていいですね。私はこの田舎のカタチにとっても期待をしています。私は東日本大震災をきっかけに引っ越してきましたが、世の中は経済主体の社会ではやっていけなくなっていると思ひます。そんなとき必要なのは、お金のやりとりや義務感でなく、思いやりの気持ちで動ける関係ではないでしょうか。

別府地域は有償運送など先進的な取り組みをして、まとまりがよいと言われますが、地域一人ひとりの声を生かしていく仕組みをもっと充実してほしい。みんなが取り組みたいと思ふような地域づくりをして、一人ひとりが心身ともにより元気になって

いくことを願っています。

今、私は休耕田を利用して、稲作、そして薬効の強いマコモダケを植えていきたいと思ひています。畑では、大豆、小豆、トウキビなどの雑穀を栽培していく予定です。私の農の仲間の間では、農薬や化学肥料はもちろん有機質の堆肥も使わない無肥料による『自然栽培』の認知度が高く実践者も増えています。化学物質過敏症の知人でも食べられ、さまざまな現代病にも効くような食べ物を手がけたいし、輸入や金肥、お金や化石燃料に頼らず持続可能な循環型の農やくらしにしていかなければならないという点で、このような自然に即した取り組みは重要になっていくと思ひます。また小さな田んぼを復活させれば、農業生産だけでなく、水生生物のすみかとなり、子どもや大人の遊びや学びの場にもなるのでどんどん広げたい。これらを進めるためには、地域の昔ながらの営みがとても参考になります。

別府地域では昨年は伝統行事の花田植え、今年はホタル祭りが行われる予定で楽しみにしています。ホタルが乱舞するすばらしい環境ですが、我々の毎日の農やくらしがいろんな生き物の生態に影響することもしっかり念頭におきながら取り組みたい。人や生き物、自然の営みに対する思いやりや感謝の気持ちを大事にし、自分も気持ち良く過ごしていきたいです。

助け合いの仕組みは現代社会においてますます重要になっていくと思ひますが、美郷町に残るこのすばらしい仕組みがよりよい方向に生かされていくことを願っています。

※そんなわけで、昔の暮らしを大事にしています。そこで、みなさんのお持ちの古い道具はぜひ活用してほしいし、活用できる場をつくりたいです。そこで不要な場合は捨てずにお知らせいただけるとうれしいです。かご、ざる、とうみ、くわ、せんば、七輪、火鉢、壺、桶、田車…

### 編集後記

春うらかな季節となりました。今年の桜は例年より早く咲き、議会だよりの編集が終わるころはすっかり葉桜になってしまいました。

広報委員会では昨年、広報の研修会に参加し、皆さんに読んでいただける広報づくりを研修してきました。その成果を踏まえて、今回から一般質問の内容を一新いたしました。これまで、質問者の質問への思いをそのまま載せ、答弁についてもできるだけ詳しく掲載していましたが、結果として読みづらい紙面となっていたと思ひます。今号から質問内容を簡潔にし、答弁も要点のみとしています。また、再質問の中に大切なものがあれば載せることにいたしました。美郷町議会では一般質問では時間内であれば何回でも質問できることになっています。再質問の内容を載せることで傍聴の臨場感を…と思ひています。私たちの思いはできるだけ多くの人に議会を傍聴していただきたいことです。そのためインターネットによる議会中継も検討しています。これからも議会だよりを読んでいただけるよう努力いたします。皆さんのご意見をお願いいたします。

山本幹雄 記